

第 73 回山梨県高等学校総合体育大会陸上競技大会

新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル

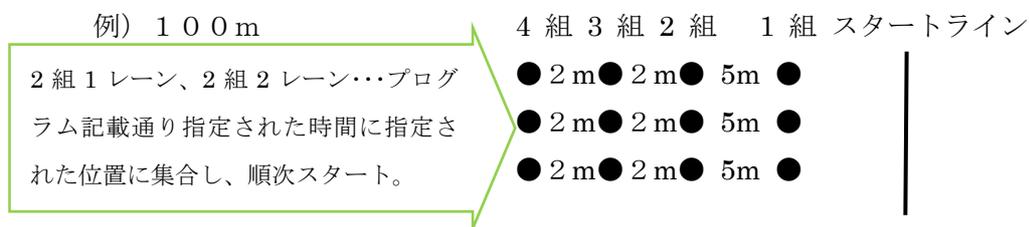
山梨県高体連陸上競技専門部

【1】 大会を実施するにあたっての感染症対策

- ① 3密を回避する配慮を徹底して行う。
- ② 競技者、関係者の自覚（自ら自分の身を守り、他人に感染させない）を促す指導をする。
- ③ 活動再開ガイドラインと施設利用に関するガイドラインを遵守する。

【2】 具体的な対策

- ① 大会への移動方法
 - ・交通手段については感染リスクの少ない方法での現地集合をお願いする。
- ② 各場所の集合形態
 - ・「ソーシャルディスタンス」「マスク着用」「手指消毒、手洗い」の徹底。
- ③ 開閉会式
 - ・参加人数を縮小し、各校 5 名までとする。
 - ・事前にマーカー等で示された位置に、ソーシャルディスタンスを保って整列する。
 - ・内容は簡素化して行い、15 分以内に終了する。
- ④ 招集の方法について（プログラム記載の競技注意事項を確認すること）
 - ・選手の密集を避けるため、トラック競技の招集所は 100m スタート地点付近の器具庫の外（競技場外）に設ける。また、フィールド競技の招集は、全て現地で行う。
 - ・招集時刻についても必ず確認すること。密を避けるため、招集時刻の 5 分以上前に来ることは禁止とする。



- ・競技者係は出発係と連携し、選手の DNS 等を逐一連絡する。
 - ・フィールド種目の待機場所では 1.5m 間隔で指定場所を作成する。
- ⑤ 選手の導線について
 - ・競技場への出入りについては、招集所からの入場、100m スタート後方ゲートからの退場という流れで行う。トラックレースのゴール後はそのまま競技場を左回りに歩き、各種

目のスタート地点まで戻る。この間、他の選手との距離を1 m～2 m空けて歩き、会話や握手・ハイタッチ等は禁止とする。

⑥ 服装について

- ・選手はマスク着用（競技時は外してよいが、待機中は着用する）。
- ・審判員は、マスクは全員が着用、ビニール手袋・軍手も推奨する。

⑦ 各学校の対策

- ・各学校でテントやシートでベンチを作る場合は、平素よりもスペースを広めにとることと、ベンチ内で密集しないよう徹底する。また、そのことを係員が巡回指導を行って徹底する。
- ・大会中、仲間との握手やハイタッチ、ハグ等の行為がないよう事前に各学校で指導を行う。
- ・当日出たゴミについては各学校で責任を持って持ち帰る。

⑧ 観客席について

- ・今大会は、県内の感染レベルに合わせて、県陸協主催大会と同様に有観客大会として開催するが、以下の各項目にある内容を遵守すること。
- ・メインスタンドは、各校の部員の居場所として開放する。
- ・観客席は、バックスタンドの上半分のエリアとサイドスタンドの上半分のエリアとして開放する。なお、それぞれの下半分のエリアは部員、選手、指導者の席とする。
- ・観客席に入場できるのは、大会関係者、選手、※選手関係者（監督・コーチ・親族等）、報道関係者等に限る。
- ・観戦希望者の受付場所は、正面入り口付近に開設されるT I C（テクニカルインフォメーションセンター）とし、必ず体調管理チェックシートを提出し、I Dカードと観戦履歴用紙を受け取る。観戦時、自分の座席番号等の情報を観戦履歴用紙に記録し、帰りにI Dカードと共にT I Cへ提出する。
- ・観客席への出入り口は、1 0 0 mスタート後方のゲート1か所のみとし、I Dカードで管理することとする。
- ・I Dカードは、JAAF 体調管理チェックシート（県陸協 HP 掲載）を提出した個人または団体に配布する。
- ・大声を出しての応援は禁止とする。
- ・係員が巡回し、観戦者が密集することがないように徹底する。

○有観客の開催

収容率50%を超える行事を開催するための前提を条件とする。

(1) マスクの常時着用の担保

…マスク着用の徹底、100%が絶対条件とする。

(2) 大声厳禁

…大声を出す物がいた場合は、個別指導等で対応する。

基本的な感染防止等

(3) 手指消毒（入室・入場時の消毒・手洗い）

参考：「年度末に向けて行われる行事等の留意事項等について」

2021.2.15 文部科学省通知

(4) 会場（役員室等の室内）の消毒・換気
…30 分に一回の換気と換気扇の常時稼働

(5) 密集の回避

…入退場時の密集の回避（時間差入退場 例：A ゲート…B ゲート…順に）
入退場時、人と人が触れない距離を保つこと

(6) 身体的距離の確保（人と人の間 1～2 m以上）

(7) 入場時の検温（登校時の検温で可）発熱症状（37.5℃以上）は自宅待機

(8) 行事前後の感染防止の注意喚起

⑨ 補助競技場・更衣室の使用について

- ・補助競技場は I D カードを持った選手・指導者のみ入場可とし、付き添い生徒等も入場できない。また、集団でのウォーミングアップや練習等は禁止とし、個別に距離を保って活動を行う。
- ・更衣室には係員をつけ、最大 15 名定員で更衣が終了次第すぐに退出を促す。

⑩ 消毒対策

- ・各学校で消毒液を持参し、部員が競技場へ来た際と帰る際、また、ベンチ等に常備しておく頻繁な消毒を徹底する。
- ・玄関・各ゲート等の出入口と必要な競技場所に消毒液を設置し、選手・競技役員・関係者の消毒を促す。競技前後の導線を示し、密を回避する。
- ・共用の器具に触れる種目では競技前に手を消毒し、競技後にまた手を消毒するという方法を取る。競技後手洗い等でのタオルの使い廻しは厳禁とする。

例) 100m：スタート前に手を消毒→スタブロに触れる→ゴール後に手を消毒
砲丸投：投擲前に手を消毒→砲丸を投げる→1投投げる毎に手を消毒

⑪ 健康チェック・参加要件

- ・大会当日までの JAAF 体調管理チェックシート（陸協 HP 掲載）を本人・家庭の責任のもと作成し、本人が健康であることを確認した上で、未成年者は保護者に参加の承諾をもらう。症状がある場合は団体責任者に報告し、大会への参加は自粛する。
 - ・当日朝、大会参加前の受付時に健康チェック表（兼参加承諾書）を提出する。
- ※競技に参加する選手だけでなく、マネージャーや競技に参加しない者についても、来場する際は健康チェック表を提出しなければならない。大会 4 日前から当日までの間に該当するに○がある場合は出場・観戦を自粛する。
- ・当日の検温欄に記載がない者は、当日備付の体温計を使って測定し、参加の可否を判断する。
 - ・試合後も来場した関係者すべてが健康チェックを続け、症状が 4 日以上続いた場合には各団体責任者に連絡する。責任者は山梨県高体連陸上競技専門部に連絡し、該当者の健康チェック表を回収・提出し、その後の指示を仰ぐ。

⑫ 競技運営について

- ・時間短縮のため、決勝のみレーン紹介を行う。フィールド種目もトップ8紹介は行わない。
- ・今大会の各種目表彰式は選手間の間隔を開けて実施する。
- ・番組編成は掲示するが、記録の発表は掲示板なしの方法で運営する。

⑬ 救急・救護体制について

- ・大会中、救護室に医療関係者が常駐する。
- ・医療関係者の指示の下、救護室の他に隔離室を設け、環境を整備する。
- ・近隣の医療機関と連携し、必要な場合はすぐに搬送できるようにする。

⑭ 報道関係について

- ・報道関係者についても体調管理チェックシートの提出を義務付け、事後の健康チェックも継続する。4日以上症状が続く場合は山梨県高体連陸上競技専門部に連絡する。
- ・各社の人数については事前に相談する。
- ・取材エリアを設ける。